

2 . 経営方針

(1) 経営の基本方針

電気事業におきましては、経済構造改革の一環として、本年3月21日から電力小売市場の一部自由化が行われ、これにより外資系を含む多くの企業に新規参入の門戸が開かれました。

こうした本格的な競争時代を迎え、当社では、本年4月、今後5年程度の経営方針として新たな「中期経営方針」を策定するとともに、これに基づく「平成12年度経営計画」の中で経営目標を掲げ、その達成に向けた取り組みを行なうことで、経営各面での競争力強化に努めております。

まず、全社を挙げた効率化の成果として、本年10月1日から電気料金の改定を実施し、料金水準を引き下げるとともに、新たな料金メニューを導入し、お客さまの選択肢を充実いたしました。今後とも、お客さまから「かんでんブランド」をお選びいただけるよう、より一層のサービス向上を図ってまいります。

また、社会からの信頼をより堅固なものとするため、原子力発電の安全性の維持、向上をはじめとした品質と安全の確保に向けた取り組みをより強化していくとともに、グリーン電力への協力や海外における環境プロジェクトへの参画など、地球環境保全への取り組みを一層推進してまいります。

さらに、グループ全体での競争力強化を目指し、通信事業の再編の他、ガス事業、介護事業、海外事業等も具体化するなど、今後もグループ全体として新たな収益基盤の構築に取り組んでまいります。

当社は、こうしたチャレンジを通じて、企業価値の向上を図り、同時に経営資源の効率性を高めて財務体質の強化を図ることにより、お客さまはもとより株主や投資家の皆さまからも信頼をいただける事業活動を展開してまいります。

(2) 利益配分の基本方針

当社は、長期的な視点に立って株主価値の増大をめざしてまいります。すなわち、競争時代に突入した電気事業において、徹底した効率化を推進し、競争優位を確保できる料金水準を維持しつつ、財務体質の強化を図ってまいります。したがって、安定配当を維持しつつ、株主価値を持続的に向上させていくことを利益配分の基本方針としております。

なお、内部留保資金につきましては、設備投資、および財務体質の強化方策に充当してまいります。